心臓血管外科

部長　手嶋英樹　　主任部長　入江博之

2022 年の活動

心臓血管外科は 2023 年 2 月において、入江博之（副理事長兼主任部長）、手嶋英樹（部長）、田井龍太（科長）、衣笠由祐（科長）、杭ノ瀬慶彦（後期研修医）の 5 人で診療を行っています。初期研修医のローテーションを複数名（濱田、廣瀬、齋藤、髙島）受け入れ、皆が精進してくれました。学生研修でも血気盛んな若者にも出会えて将来有望だなーと思いました。コロナで研修が中止になってしまった時期もあり残念な気持ちもあります。

2022 年 4 月に森河内萌（後期研修医）が当科へ加入後、現在は当院消化器外科等にて研修を実施中です。また 8 月から衣笠由祐が半年間広島市民病院（血管外科）に国内留学しました（ご指導誠にありがとうございました）。2023 年 2 月に衣笠由祐に代り鳥家鉄平が広島市民へ移動しました。2021 年 7 月から当スタッフであった鳥家鉄平が心臓血管外科専門医を取得（2023 年 1 月）しました（今後の活躍を期待しています）。当科の心臓血管外科専門医は変わらず現在 4 人在籍しています。入江先生の指導の下、中堅若手はさまざまな専門性に挑戦し、専門医認定をさらに取得予定であります。

当科での取り組みとして、早期離床や当日リハビリテーションは継続中であります。80 才以上の手術が多数を占めており、90 才以上の超高齢者もおられます。とにかく低侵襲が必須な状態で、的確迅速な診断と対応する治療、術前の状態を維持する最適な診療（リハビリ、栄養、看護などなど）実施と併発症予防などを目標としています。

2022 年の手術数

2022 年の年間総手術症例数は 461 例でした。心臓・大血管手術は 303 例でした。コロナ感染症の影響などにて年に数度定期手術入院の 1-3 週間程度の延期などを経験しましたが、なんとか踏ん張りました。

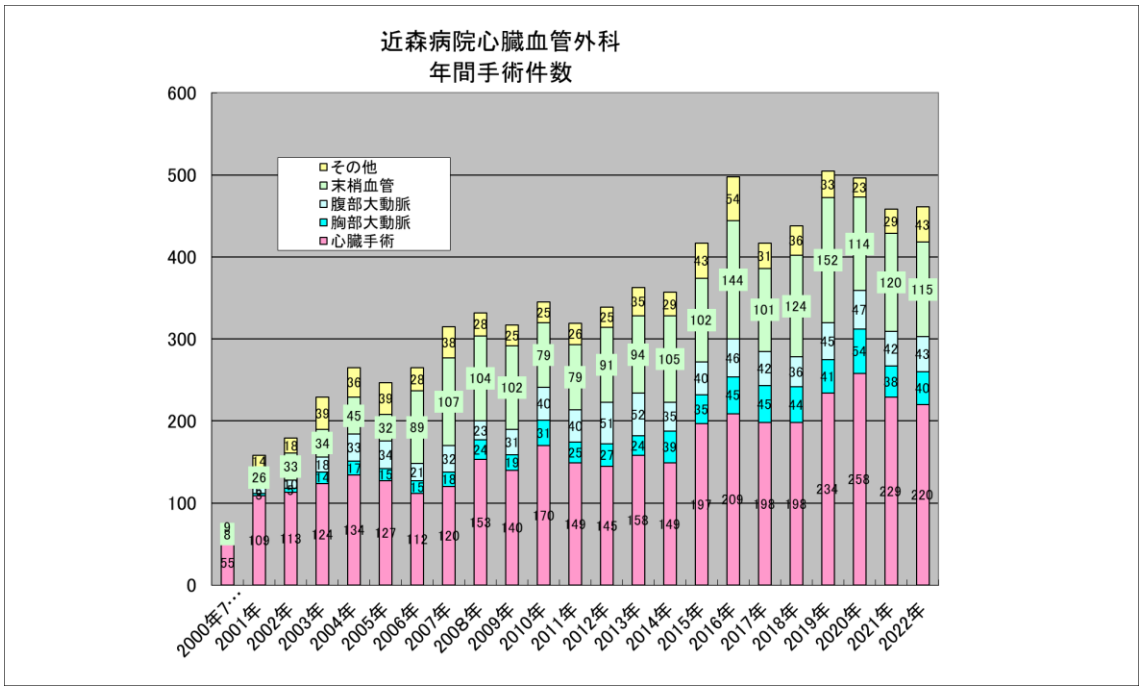


図 1：近森病院心臓血管外科 年間手術件数グラフ

自分が年報を最期に記載したのが 2015 年で 8 年前になります（その間いろんなことがありました、国民皆保険ではありますが病院も厳しい時代背景を反映しています）。その前年から開始している経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）ですが、継続した多くの患者さんのご紹介を頂き、ハートチームで協議しつつ、結果的に症例数は右肩上がりで、この 3 年間で合計 300 例以上を行い、2023 年 1 月に指導施設に認定されました。今後は新規デバイスや TAVI 弁機能不全症例に対する再 TAVI 治療も実施していく予定です。TAVI 弁以外の弁膜症のご相談にもハートチームにて対応可能です。

近森病院も 75 周年を経て、その理念を継承しつつ、最適な医療を提供すべく、医療スタッフ一丸となっております。地域の一番の医療施設を目指し日々邁進しています。循環器医療は特にハートチーム全体の努力によりさらなる進化を目指し、その過程ではありますが、結果として TAVI 指導施設認定という一つ形として認められたものとの喜びと共に、常に患者さんや皆様に還元できればと考えております。

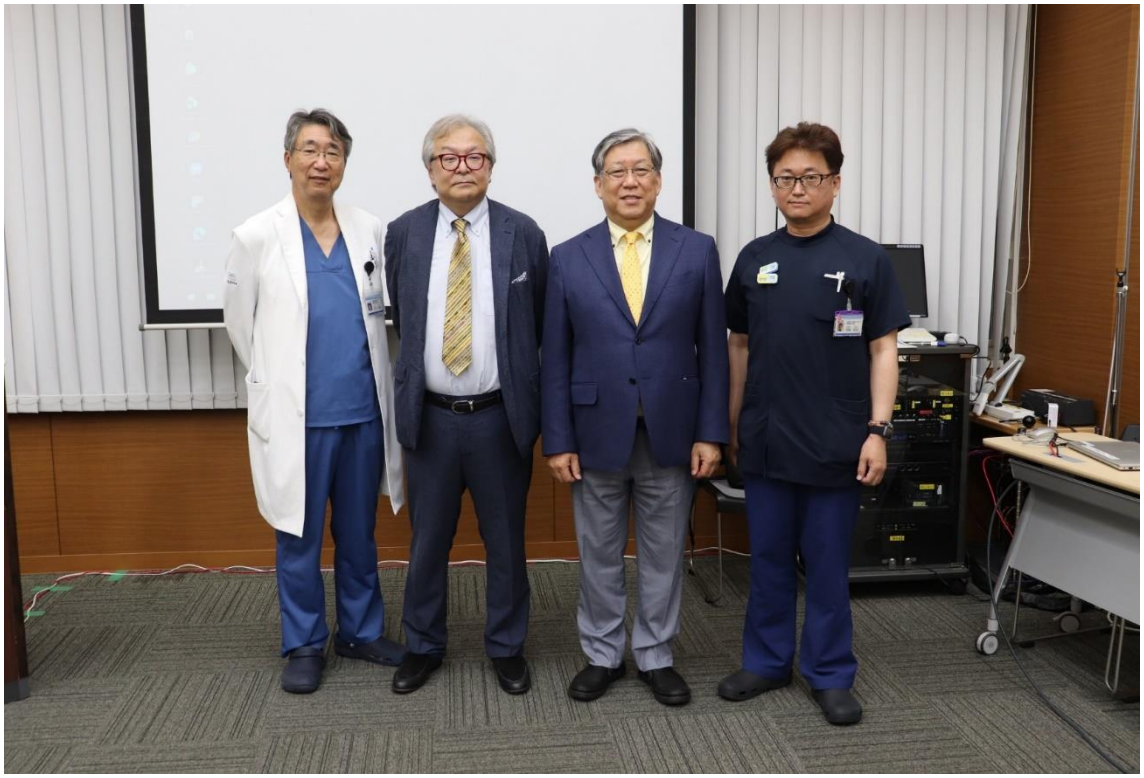
図 2 ：ハートチーム記念写真（TAVI 指導施設）

2022 年の訪問、講演、招待手術など

例年他施設からの当施設見学の訪問、時事著名な先生方を招聘した教育講演や招待手術を企画しておりましたが、コロナ禍の中、直接お越しいただくことが困難な状況であり、多くを延期しておりました。今後はウイズ・コロナが想定されおり、安全性を見極めながら適切な交流が活発化できればと考えています。

そのような中ですが、1 月には宇治徳洲会病院の小林豊先生ご一行が病院見学に、広島市民病院の柚木継二先生に胸腹部大動脈瘤の手術、また現在、東京ベイ浦安市川医療センターの菊地慶太先生に MICS-CABG の手術を実施いただきました。4 月にはテンプル大学の豊田吉哉先生の講演（ワタシかなり喜んで xx してしまいました）、5 月には華岡慶一先生の講演、9 月に広島市民病院の柚木先生に昨期二度目の感染性胸腹部大動脈瘤の手術（年明け 1 月もさらに op 実施）、10 月に聖マリアンナ医科大学の出雲昌樹先生の講演（自分聴講できず！）、11 月に旭川医科大学の紙谷寛之先生の講演（自分聴講できず！）、12 月に高梨秀一郎先生の自己弁温存基部置換手術など遠路はるばる高知においでくださりありがとうございました（再会できることを楽しみにしています）（記載漏れ合った場合はご了承ください）。

テンプル大学 豊田吉哉 先生



医療法人春林会　華岡青洲記念病院 理事長　華岡慶一　先生

旭川医科大学 心臓血管外科学分野 教授 紙谷寛之 先生

2023 年の展望

8 年ぶりに年報を記載する機会を得ることができ、過去を振り返り、何らかしらの期待も含めオマケも書きます。当院生え抜きの田井、衣笠両先生が高知の心臓血管外科医療を牽引していく時代に入っていくと強く期待しています（臨床だけでなく、研究をも）。それを初期、後期研修医の先生方が学んでいく形から、今の若手が次第に活躍していく未来をうかがえます。そこには互いに心臓血管外科の難しさ厳しさ特殊性などもあろうかと思います。とにかく継続は力なりです。心技体、日々是努力です。

働き方改革も制度として執行直前であります。医師個人としての成長以上に、医療者としての振るまい（人格、人柄）が試されています。質と量の時代から価値への移行が昨今 keyword となっています。しかしながら価値をどのように表現、評価するという大課題も未解決の状態です。個としてもチームとしても組織としても、挑戦（心＝魂）こそが普遍的な価値の一つとも思えます。初心を忘れずにかつバランス良く行きたいです。

医師以外のスタッフも個々の発展や変化が期待されています。タスクシフトだけでなくシステムの変更も予測されています。できるスタッフが窮地では必然的に求められておりますが、現場はそうは簡単ではありません。医療の安全や安心の基本はもちろんですが、急性期チーム医療での最善の連携とは？教育とは？何か毎度問われている状況です。日々進歩は確認できないかもしれませんが、ふと誰もが過去を顧みたときに、以前と比較して個として任せられる自負やそれを囲っている不文律的な教育指導体制がいわゆる連携構築できていれば・・・と考えたりします（ベテランもがんばれー）。

そんな中で自分はといいますと、、、事実理想を具象化できないので、現実小言は多く、老害一歩手前そんな感じです。しかし、夢も希望も皆目無くなったわけではないので恐れず皆と一緒にできることをがんばっています。

2022 年の学術発表、講演など

論文

衣笠由祐、院外心肺停止から後遺症なく救命し得た左主幹部冠動脈瘤による急性心筋梗塞；医療連携の重要性. 資料名：月刊心臓（Heart. Supplement）巻：54 号：6 ページ：722-728

廣瀬聡一郎、外傷性腹部大動脈急性閉塞に対して血栓除去術と大腿動脈―大腿動脈交叉バイパスを施行し救肢した 1 例. 資料名： 月刊心臓（Heart. Supplement）巻： 54 号： 11 ページ：1272-1277.

学会発表

演題	発表者	学会名	開催
血液透析患者における TAVR の短期成績	杭ノ瀬　慶彦	第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会	2022 年 3 月 web
今後求められる心臓血管外科専門医について	衣笠　由祐	第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会	2022 年 3 月 web
Is TA-TAVI inferior to TF-TAVI in the elderly patients?	入江　博之	第 86 回日本循環器学会	2022 年 3 月 web
繰り返す人工弁心内膜炎の弁周囲逆流を経右室流出路で修復した 1 例	杭ノ瀬　慶彦	第 120 回日本循環器学会中国・四国合同地方会	2022 年 5 月 広島
心臓血管外科専門医取得後の憂鬱	衣笠　由祐	第 34 回胸部外科教育施設協議会学術集会・総会	2022 年 6 月 岐阜
異なる 2 社の人工肺で複数回流入部圧上昇をきたした 1 例	濱田　雄一郎	第 65 回関西胸部外科学会学術集会	2022 年 6 月 浜松
感染性弓部大動脈切迫破裂のもう後がないと感じた 1 例	手嶋　英樹	WEP2022	2022 年 7 月大阪
Modified del Nido 心筋保護液を用いた成人開心術 500 例の使用経験	田井　龍太	第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会	2022 年 10 月　神奈川
川崎病後遺症巨大肝動脈瘤を有する成人女性の急性心筋梗塞による院外心肺停止に対し、冠動脈バイパス術を行い社会復帰した 1 例	杭ノ瀬　慶彦	JP タワーホール＆カンファレンス	202 年 12 月 東京

講演開催

演題	開催
高知医療再生機構補助金講演会「Off-pump MICS CABG の現状	2022 年 1 月　高知
高知医療再生機構補助金講演会「米国病院状況最新情報－循環器疾患を中心に－	2022 年 4 月　高知
高知医療再生機構補助金講演会「機能的ハートティームの循環器画像診断－イージスシステムの目としての CTA－	2022 年 5 月　高知

座長・司会・コメンテーターなど

セクション名など	座長・コメンテーター	学会名	開催
一般口演 45　大動脈弁 5	入江　博之	第 52 回日本心臓血管外科学会学術集会	2022 年 3 月　web
弁膜症 1	入江　博之	第 120 回日本循環器学会中国・四国合同地方会	2022 年 5 月　広島
Case Presentation award 心臓 5	入江　博之	第 65 回関西胸部外科学会学術集会	2022 年 6 月　静岡
講演 1：経心尖アプローチ	入江　博之	TAVI Technical Talking Times～Alternative Approach TAVI の経験を share する～	2022 年 6 月 Web
オープニング	入江　博之	心臓血管疾患リハビリテーションを考える	2022 年 7 月 Web

シンポジウム 3 この弁アカンやん～TAVI in SAV～	入江　博之	第 12 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会	2022 年 7 月　仙台
TAVI セッション 3	入江　博之	ストラクチャークラブ　ライブデモンストレーション 2022	2022 年 9 月　岡山
クリニカルビデオセッション　心臓 2	入江　博之	第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会	2022 年 10 月　横浜